

「こんな生き方ができたら

いいな！」を考える

市民活動フォーラム2018

～市民活動の現場で楽しみながら夢をカタチにしている女性たちにまなぶ～

女性の活躍が叫ばれている昨今、市民活動の現場においても、自分が理想とする生き方を楽しみながら、カタチにしていく女性が増えています。

ごく普通の女性が、社会のニーズを自分事と捉え、様々な壁を乗り越えながら活動を継続し、自らの役割や居場所を見出している軌跡を語ってまいります。

「こんな生き方ができたらいいな!」と思っても「今一步を踏み出す勇気がない」また「今すでに活動や仕事をしている」けれども「生活とのバランスがとれない」そんな女性達の背中を押し、様々な困難があっても誰にでも「自分らしく生きることができる」という可能性を感じてもらい、具体的なノウハウを学ぶことによって今からできる一步を持ってかえって頂くためのフォーラムです。

日
会
内
時
場
容

10月7日(日) 12:45～16:45
滋賀県立県民交流センター(ピアザ淡海) 207号室

参加者同志の
交流会もあります♪

第一部

12:45 ☆ 受付・会場オープン / 交流会

13:15 ☆ 開会

13:20 ☆ 基調講演

「自分が主役の人生を生きていくために」

大津市女性活躍推進アドバイザー・キャリアコンサルタント 安藤悦子さん

第二部

14:10 ☆ パネルディスカッション

「こんな生き方ができたらいいな!」をカタチにしている女性たちの語らい

(話題提供者)

永田 かおりさん 社会福祉法人ひだまり 理事長

馬場 環さん らんぷ 代表

宮本 麻里さん 子育て応援カフェLoco 代表

15:45 ☆ 質疑応答

15:55 ☆ グループごとで感想共有タイム / ディスカッション

16:45 ☆ 閉会

寄付つき商品ヒラペリラの
「赤シソジュース」などを
ご用意してお待ちしています。

定
員
対
象
参
加
費
参
加
申
込

先着順50名 (定員になり次第締切)

当フォーラムに興味関心のある方どなたでもご参加いただけます。

500円

裏面にある申込先に必要事項を記入の上、FaxもしくはE-Mailでお申し込みください。

主催 淡海ネットワークセンター (公益財団法人 淡海文化振興財団)

「こんな生き方ができたらいいな！」を考える市民活動フォーラム2018
FAX参加申込書

FAX: 077-524-8442

フリガナ お名前			
連絡先	Tel:	E-mail:	
お住まいの市町名		活動されている 団体名など	
なぜ参加しようと思われましたか？ (自由記述)			

注1) ご記入頂きました個人情報、淡海ネットワークセンターの事業以外に使用いたしません。

注2) 天候や公共交通機関の状況により、イベント開催が困難になった場合はホームページにて通知をいたしますのでご確認ください。

【お問合せ・お申込先】 淡海ネットワークセンター (公益財団法人 淡海文化振興財団)

住所: 滋賀県大津市におの浜1-1-20 (ピアザ淡海2F)

TEL: 077-524-8440 FAX: 077-524-8442

E-Mail: office@ohmi-net.com

URL: <http://www.ohmi-net.com> (アクセス方法はこちらからご覧ください)

出演者プロフィール

安藤悦子さん (大津市女性活躍推進アドバイザー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー)



大津市在住。大手半導体メーカー人事部で主に採用業務に携わり、11年間勤務後、退職。退職後すぐの夫の転勤での三重県在住時は東海地方で各種研修の講師とブライダルアナウンサーを経験。2007年夫の中国転勤に伴い、研修講師業を専門に活躍。中国と日本と行き来し講師業を継続。2009年に帰国後は大津市を拠点とし活動中。講師デビューは2004年で今年で15年目に入る。/大津市市民活動センター登録団体「女性の起業を応援する会」会員/FMおおつラジオパーソナリティ

馬場環さん (らんぷ 代表)



大津市在住。三人の娘の子育て中に、自分自身がほしかった学びの機会を作る為、2010年9月に「コミュニティサロンらんぷ」設立。現在、プランナーとして女性の自己実現のための企画を心掛けている。生き方を仕事につなげていきたい女性起業家の中間支援として、イベントを企画運営し、今秋Reuse (リユース) をコンセプトとした「第一回虹のさきマルシェ」を主催。手がけたイベント・セミナー回数は250回以上で、柔軟に「今、必要なこと」を感じ取りながら企画している。/着物教室「和姿かりん」主宰/FMおおつラジオパーソナリティ。

永田かおりさん (社会福祉法人ひだまり理事長)



米原市在住。1994年より、市立長浜病院に看護師として勤務。2001年、次女を出産した頃より、伯母と一緒に「子供も高齢者も共に過ごせる居場所を作りたい」と、活動を開始し、2003年にNPO法人を設立。同年より、空き家改修型の宅児・宅老 (デイサービス) を開始すべく準備していた最中、伯母が倒れ、全てを引き受け開設することに…。その後、障がい児童日中預かりや自主事業での高齢者お泊り支援等にも取り組みながら、同敷地内で、小規模多機能、認知症グループホームを順次開設し、2015年に社会福祉法人を設立。2017年からは、訪問看護を開設し、今春、地域密着型特養を開設。私生活では、3人の母親でもあり、世代を超えた地域拠点作りを目指して活動中。

宮本麻里さん (子育て応援カフェLoco 代表)



長浜市在住。2児の母。未就園児サークルの役員を経験後、100人のママにアンケートをとりママのあったらイイなをカタチにするために長浜市で2015年、子育て応援カフェLocoをオープン。女性を長期的に多方面で応援できる居場所を目指し、【子育て支援】【ママの再就職支援】の2つを柱に、すべてママ目線で企画運営を行っている。子育て世代が気軽に集える場所の提供としてカフェをはじめ、サークル、親子教室、起業家女性のためのセミナー、ハンドメイド商品委託販売など事業は多岐に渡る。またママ達の想いを行政に届けるため、各種委員会に多数参加。